

第4章

計画の推進



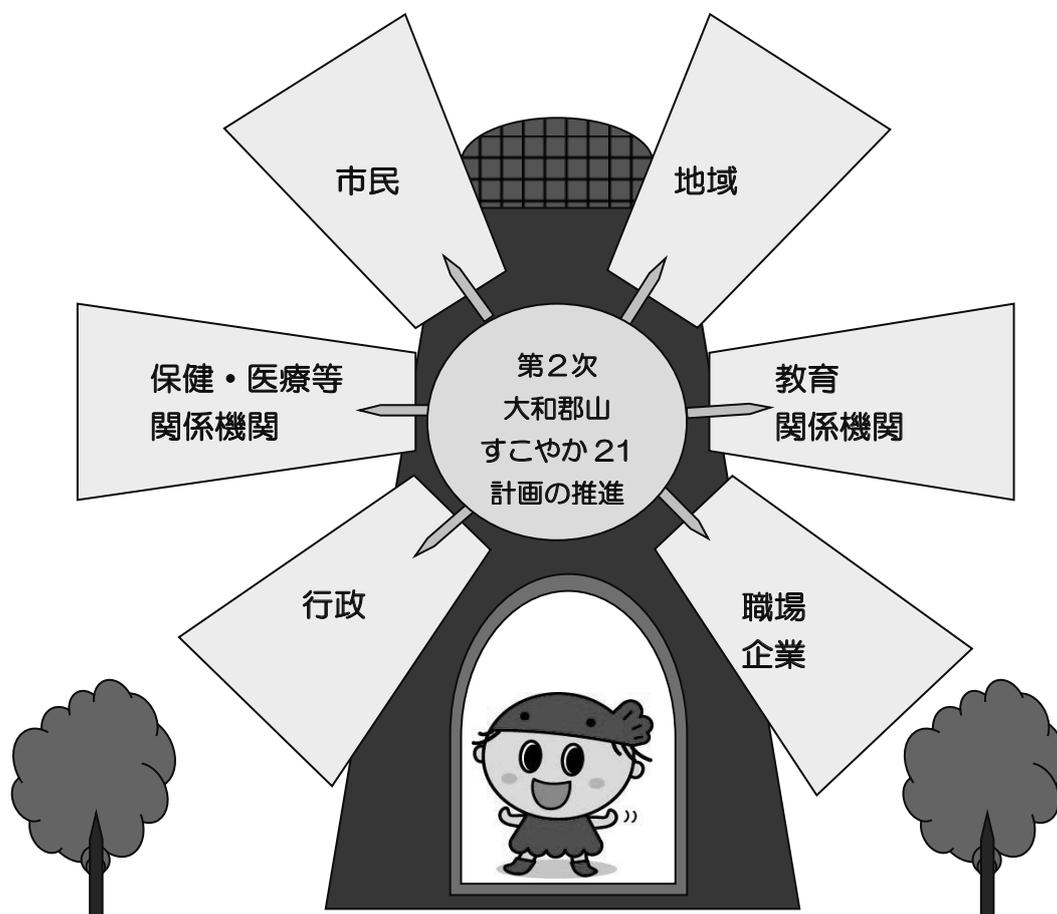
1 推進体制

第2次計画策定後は、『自分らしい人生を送るための人づくり・まちづくり』をスローガンに、「ライフステージを通した一貫した取り組み」「市民ひとりひとりが主体的に取り組む」を基本方針として、『生涯を通した健康づくり』、がん検診による早期発見や生活習慣病の重症化を防ぐ『がん・生活習慣病予防』、個人の努力や責任に委ねるだけではなく、市民・地域・行政が一体となって健康づくりを協働ですすめる『健康づくりに取り組むまちづくり』の3つの柱で推進してきました。

年3回推進委員会を開催し、『市民参加の健康づくり』計画推進のための取り組みや市民への周知方法の検討や見直しを定期的に行う中で、市民、地域団体、企業など地域との連携、協働ができる体制が整ってきています。

また、行政においても行政部会を開催し、定期的な取り組みの評価、見直しを行うなど連携、協力できる推進体制ができてきています。引き続き、計画を効果的に推進していくために、「大和郡山すこやか21推進委員会」を中心に住民組織、行政機関、地域団体など関係機関との連携を図り、推進体制を整備していきます。

また、国の「健康日本21（第2次）」「健やか親子21（第2次）」「自殺対策計画」「食育推進基本計画」や奈良県の「なら健康長寿基本計画」等の動きとも連動しながら、地域・教育・企業・行政、保健・医療・福祉、そして推進委員を含めた市民が、これまでの連携の成果を維持し強めながら『市民参加の健康づくり』をより推し進めていきます。



2 評価指標

1 生涯を通じた健康づくり

(1) 栄養・食生活

	指標	策定時 ベースライン値	現状値 中間評価値	改定 目標値	出典 考え方
1	朝食を毎日食べていないこどもの割合の減少	小学生高学年:12.6 % 中学生:12.0 % (H26)	小学生高学年:22.9 % 中学生:26.4 % (H30)	小学生高学年:10 % 中学生:10 %	出典:市学校調査 考え方:「1割」を目標とする
2	1日3食食べる者の割合の増加	男性:76.8 % 女性:88.7 % (H26)	男性:88.5 % 女性:91.1 % (H30)	男性:90 % 女性:90 %	出典:市民調査 考え方:「8～9割」を目標とする
3	野菜摂取量が両手一杯(120g)未満の者の割合の減少	男性:40.8 % 女性:34.9 % (H26)	男性:25.7 % 女性:21.0 % (H30)	男性:25 % 女性:20 %	出典:市民調査 考え方:「25～30%」を目標とする
4	共食の増加(朝食を1人で食べるこどもの割合の減少) (小学生高学年・中学生)	小学生高学年:23.8 % 中学生:45.4 % (H26)	小学生高学年:20.7 % 中学生:46.1 % (H30)	小学生高学年:20 % 中学生:40 %	出典:市学校調査 考え方:「小学生は2割、中学生は8割」を目標とする
	共食の増加(夕食を1人で食べるこどもの割合の減少) (小学生高学年・中学生)	小学生高学年:2.1 % 中学生:9.2 % (H26)	小学生高学年:1.6 % 中学生:11.1 % (H30)	小学生高学年:1.0 % 中学生:7.5 %	出典:市学校調査 考え方:「小学生は1%、中学生は7.5%」を目標とする
5	地元産農産物を選ぶように意識している者の割合の増加	男性:43.4 % 女性:62.3 % (H26)	男性:31.4 % 女性:49.9 % (H30)	男性:50 % 女性:70 %	出典:市民調査 考え方:「7～8%増加」を目標とする
6	食品表示を見る者の割合の増加	男性:44.5 % 女性:62.3 % (H26)	男性:47.7 % 女性:69.0 % (H30)	男性:50 % 女性:70 %	出典:市民調査 考え方:「6～8%増加」を目標とする
7	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	男性:39.0 % 女性:47.5 % (H26)	男性:51.3 % 女性:51.3 % (H30)	男性:60 % 女性:60 %	出典:市民調査 考え方:「7～8%増加」を目標とする
8	肥満者の割合の減少 (20歳～60歳代男性)	31.4 % (H26)	25.1 % (H30)	28 %	出典:市民調査 考え方:国と同じ数値目標
9	肥満者の割合の減少 (40歳～60歳代女性)	18.4 % (H26)	11.4 % (H30)	16 %	出典:市民調査 考え方:国の目標値「19%」を達成しているため、「16%」を目標とする
10	やせの割合の減少 (20歳代女性)	29.4 % (H26)	12.1 % (H30)	20 %	出典:市民調査 考え方:国と同じ数値目標
11	やせの割合の減少 (高齢者65歳以上)	13.8 % (H26)	11.4 % (H30)	10 %	出典:市民調査 考え方:国の目標値「20%」を達成しているため、「10%」を目標とする

(2) 運動・身体活動

	指標	策定時 ベースライン値	現状値 中間評価値	改定 目標値	出典 考え方
1	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加	小学生高学年男子:61.2% (H26)	小学生高学年男子:59.4% (H30)	小学生高学年男子: 65%	出典:市学校調査 考え方:「5%増加」を目標とする
		小学生高学年女子:36.8% (H26)	小学生高学年女子:40.2% (H30)	小学生高学年女子: 45%	
		中学生男子:86.1% (H26)	中学生男子:80.1% (H30)	中学生男子:85%	
		中学生女子:64.8% (H26)	中学生女子:55.4% (H30)	中学生女子:60%	
2	運動習慣者の割合の増加	男性:29.8%(47.1%) (H26)	男性:30.1% (H30)	男性:35%	出典:市民調査 考え方:「5%増加」を目標とする
		女性:20.8%(37.0%) (H26)	女性:22.7% (H30)	女性:27%	
3	30~50代男性の運動習慣者の割合の増加	16.2%(21.4%) (H26)	18.9% (H30)	男性:24%	出典:市民調査 考え方:「5%増加」を目標とする
4	20~30代女性の運動習慣者の割合の増加	12.3%(17.6%) (H26)	9.9% (H30)	女性:15%	
5	日常生活における歩数の増加	男性:5,648歩 女性:5,044歩 (H26)	男性:4,363歩 女性:3,958歩 (H30)	男性:6,000歩 女性:6,000歩	出典:市民調査 考え方:「1,000歩増加」を目標とする
6	1日3000歩未満の人の割合の減少	男性:33.5% 女性:25.5% (H26)	男性:29.6% 女性:32.0% (H30)	男性:25% 女性:25% (H30)	出典:市民調査 考え方:「5%減少」を目標とする

(3) 休養・こころ（自殺対策）

	指標	策定時 ベースライン値	現状値 中間評価値	改定 目標値	出典 考え方
1	睡眠時間が6時間未満の者の割合の減少（中学生）	男子:16.7% 女子:18.3% (H26)	男子:16.6% 女子:17.3% (H30)	男子:15% 女子:16%	出典:市学校調査 考え方:それぞれ「2%程度の減少」を目標とする
2	睡眠時間が5時間未満の者の割合の減少（40代・50代女性）	6.0% (H26)	8.6% (H30)	5.0%	出典:市民調査 考え方:「5.0%」を目標とする
3	睡眠で休養が取れている者の割合の増加	男性:86.0% 女性:80.6% (H26)	男性:81.9% 女性:75.1% (H30)	男性:90% 女性:85%	出典:市民調査 考え方:「男性90%、女性85%」を目標とする
4	最近1か月以内にストレスを感じた者の割合の減少	男性:20.2% 女性:31.7% (H26)	男性:33.8% 女性:27.6% (H30)	男性:18% 女性:29%	出典:市民調査 考え方:それぞれ「2%程度の減少」を目標とする
5	自分なりのストレス解消法のある者の割合の増加	男性:57.0% 女性:69.7% (H26)	男性:78.5% 女性:79.2% (H30)	男性:70% 女性:80%	出典:市民調査 考え方:それぞれ「10%程度の減少」を目標とする
6	自殺死亡率の減少	男性:26.6 女性:12.8 (H21~24年平均)	男性:25.9 女性:10.5 (H21~29年平均)	男性:減少 女性:減少	出典:地域における自殺の基礎資料 考え方:奈良県自殺対策基本指針に基づく
7	自分を大切に思う者の割合の増加（小学生高学年・中学生）	小学生高学年男子:78.6% 小学生高学年女子:76.3% 中学生男子:57.7% 中学生女子:50.7% (H26)	小学生高学年男子:79.6% 小学生高学年女子:79.3% 中学生男子:72.9% 中学生女子:61.1% (H30)	小学生高学年男子:80% 小学生高学年女子:80% 中学生男子:65% 中学生女子:60%	出典:市学校調査 考え方:「小学生80%、中学生男子65%、中学生女子60%」を目標とする
8	ゲートキーパー研修受講者数の増加	16人 (H26)	323人 (H29)	800人	出典:保健事業実績報告 考え方:人口の1%を目標とする

(4) 喫煙

	指標	策定時 ベースライン値	現状値 中間評価値	改定 目標値	出典 考え方
1	習慣的にたばこを吸っている者の割合の減少	男性:18.8% 女性:4.6% (H26)	男性:20.1% 女性:8.1% (H30)	男性:15% 女性:4%	出典:市民調査 考え方:男性15%、女性4%を目標とする
2	未成年者がたばこを吸っている者の割合を0に近づける	中学生男子:6.5% 中学生女子:2.3% (H16)	-	中学生男子:0% 中学生女子:0%	出典:子どもの生活習慣病予防調査(県) 考え方:国・県と同じ数値目標とする
		高校生男子:12.3% 高校生女子:5.3% (H16)	-	高校生男子:0% 高校生女子:0%	
3	妊娠中、たばこを吸っている者の割合を0に近づける	5.0% (H25)	3.2% (H30)	0%	出典:妊娠届出書(市) 考え方:国・県と同じ数値目標とする
4	妊婦の受動喫煙の割合の減少	-	34.4% (H30)	30%	(4か月健診問診票) 考え方:一次ベースラインでの「妊婦以外の同居家族が、たばこを吸っている者の割合の減少」と同じ目標値とする
5	育児期間中の父親の喫煙率の減少	-	34.7% (H28)	30%	出典:すこやか親子21の指標(4か月健診問診票) 考え方:5%程度の減少を目標とする
6	受動喫煙の機会を減らす(家庭)	-	男性:1.9% 女性:9.8% (H30)	男性:1% 女性:5%	出典:市民調査 考え方:男性・女性とも半減を目標とする
7	受動喫煙の機会を減らす(公共機関:行政+医療機関)	-	5.4%	5%	出典:市民調査 考え方:行政と医療機関での受動喫煙の割合を算出する

(5) 飲酒

	指標	策定時 ベースライン値	現状値 中間評価値	改定 目標値	出典 考え方
1	生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合の減少 (1日あたりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人)	男性:14.7% 女性:11.3% (H26)	男性:10.9% 女性:8.2% (H30)	男性:12% 女性:9.0%	出典:市民調査 考え方:「2~3%の減少」を目標とする
2	休肝日のない人の割合の減少(毎日飲酒)	男性:27.6% 女性:6.0% (H26)	男性:30.4% 女性:9.1% (H30)	男性:12% 女性:9.0%	出典:市民調査 考え方:「男性5%、女性1.5%の減少」を目標とする
3	妊婦の飲酒の減少	2% (H25)	0.6% (H29)	0%	出典:市 妊娠届出書 考え方:原則0%を目標とする

(6) 歯と口腔

	指標	策定時 ベースライン値	現状値 中間評価値	改定 目標値	出典 考え方
1	20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	男性: 24.0% 女性: 29.4% (H26)	男性: 25.8% 女性: 21.2% (H30)	男性: 20% 女性: 20%	出典: 市民調査 考え方: 「4～5%程度の減少」を目標とする
2	40歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	男性: 14.3% 女性: 22.5% (H26)	男性: 34.1% 女性: 24.6% (H30)	男性: 25% 女性: 20%	出典: 市民調査 考え方: 「2～3%程度の減少」を目標とする
3	60歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	男性: 38.1% 女性: 28.4% (H26)	男性: 43.2% 女性: 31.8% (H30)	男性: 35% 女性: 25%	出典: 市民調査 考え方: 「3%程度の減少」を目標とする
4	1日3回歯を磨く者の割合の増加	男性: 14.7% 女性: 26.1% (H26)	男性: 18.8% 女性: 28.0% (H30)	男性: 25% 女性: 35%	出典: 市民調査 考え方: 「男性は10%、女性は4%程度の増加」を目標とする
5	仕上げ磨きを毎日する習慣のある3歳児の保護者の増加	86.2% (H25)	91.60%	維持	出典: 3歳児健診受診児(4.5.6月)の間診票より 考え方: 90%を目標とする
6	3歳でう蝕がない者の割合の増加	75.2% (H25)	84.0%	維持	出典: 3歳児健診受診児(4.5.6月)の間診票より 考え方: 県と同じ数値目標とする
7	12歳(中1)でう蝕がないの者の割合の増加	71.5% (H25)	67.9%	70%	出典: 「学校歯科健診結果」奈良県歯科医師会 考え方: 4%程度の増加を目標とする
8	40歳で喪失歯のない者の割合の増加	男性: 60.0% 女性: 78.9% (H26)	男性: 72.5% 女性: 74.1% (H30)	男性: 80% 女性: 83%	出典: 市民調査 考え方: 男性は国、女性は県と同じ数値目標とする
9	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	男性: 55.1% 女性: 75.0% (H26)	男性: 62.5% 女性: 72.9% (H30)	男性: 70% 女性: 80%	出典: 市民調査 考え方: 男性10%、女性5%の増加を目標とする
10	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	男性: 29.1% 女性: 40.0% (H26)	男性: 54.5% 女性: 44.7% (H30)	男性: 60% 女性: 55%	出典: 市民調査 考え方: 県と同様の「10%の増加」を目標とする
11	過去一年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	男性: 34.2% 女性: 39.8% (H26)	男性: 43.5% 女性: 48.9% (H30)	男性: 50% 女性: 60%	出典: 市民調査 考え方: 男女とも10%程度の増加を目標とする

2 がん・生活習慣病予防

	指標	策定時 ベースライン値	現状値 中間評価値	改定 目標値	出典 考え方
1	特定健診受診率	24.6% (H24)	31.5 (H29)	55%	出典:市特定健診等データ管理システム法定報告 考え方:市特定健康診査等実施計画と同じ目標値とする
2	特定保健指導利用率	10.6% (H24)	4.8 (H29)	55%	出典:市特定健診等データ管理システム法定報告 考え方:市特定健康診査等実施計画と同じ目標値とする
3	特定健診によるメタボリックシンドローム該当者の割合(男性/女性)	男性:25.0% 女性:8.4% (H24)	男性:29.5% 女性:10.7% (H29)	男性:18.8% 女性:6.3%	出典:市特定健診等データ管理システム法定報告 考え方:国・県と同様の「平成20年度対比 25%減少」を目標とする
4	胃がん検診受診率	6.1% (H24)	5.1% (H29)	10%	出典:市保健事業実績報告 考え方:5%以下のものは5%を目標とする 5~10%台のものは10%を目標とする 10%台のものは20%を目標とする
5	肺がん検診受診率	2.9% (H24)	3.3% (H29)	5.0%	
6	大腸がん検診受診率	16.0% (H24)	16.2% (H29)	20%	
7	乳がん検診受診率	16.2% (H24)	11.4% (H29)	20%	
8	子宮がん検診受診率	14.7% (H24)	10.6% (H29)	20%	
9	胃がん検診精密検査受診率	79.9% (H24)	78.9% (H29)	90%	出典:市保健事業実績報告 考え方:国の「今後の我が国におけるがん検診事業評価のあり方」の各がん検診に関する事業評価指標と同じ目標値とする (肺がん検診のみ現状値維持を目標とする)
10	肺がん検診精密検査受診率	100% (H24)	88.9% (H29)	100%	
11	大腸がん検診精密検査受診率	77.6% (H24)	84.7% (H29)	90%	
12	乳がん検診精密検査受診率	83.7% (H24)	96.9% (H29)	90%	
13	子宮がん検診精密検査受診率	45.7% (H24)	64.7% (H29)	90%	

3 健康づくりに取り組むまちづくり

	指標	策定時 ベースライン値	現状値 中間評価値	改定 目標値	出典 考え方
1	健康づくりに取り組んでいることがある者の割合	男性:38.8% 女性:43.6% (H26)	男性:64.8% 女性:57.6% (H30)	男性:70% 女性:65%	出典:市民調査 考え方:「男性45%、女性50%」を目標とする
2	介護予防事業(いきいき元気教室など一次予防事業)利用者の増加	1084人 (H24)	6180人 (H29)	増加	出典: 考え方:「現状より増加」を目標とする
3	居住地域でお互いに助け合っていると思う者の割合	男性:61.8% 女性:59.5% (H26)	男性:48.7% 女性:51.0% (H30)	男性:65% 女性:65%	出典:市民調査 考え方:「65%」を目標とする
4	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある者の割合の増加 (健診受診者=4か月児/1歳6か月児/3歳児)	-	4か月児健診受診児: 90.8% 1歳6か月児健診受診児: 75.2% 3歳児健診受診児: 69.0% (H30)	4か月児健診受診児: 92.0% 1歳6か月児健診受診児: 78.0% 3歳児健診受診児: 72.0%	出典:すこやか親子21アンケート
5	積極的な父親の育児参加率の増加	-	4か月児健診受診児: 54.7% 1歳6か月児健診受診児: 57.0% 3歳児健診受診児: 61.8%	4か月児健診受診児: 55.0% 1歳6か月児健診受診児: 60.0% 3歳児健診受診児: 63.0%	出典:すこやか親子21アンケート
6	乳幼児健診受診率の増加 (4か月/7か月/1歳6か月/3歳)	4か月児健診:98.8% 7か月児健診:97.5% 1歳6か月児健診: 94.5% 3歳児健診:87.6% (H25)	4か月児健診:98.2% 7か月児健診:97.1% 1歳6か月児健診: 93.4% 3歳児健診:91.2% (H30)	4か月児健診:維持または増加 7か月児健診:維持または増加 1歳6か月児健診:増加 3歳児健診:増加	出典:市保健事業実績報告書 考え方:「現状より増加」を目標とする
7	虐待について相談できる場を知っている人の割合の増加	男性:42.3% 女性:52.1% (H26)	男性:41.3% 女性:53.1% (H30)	男性:50.0% 女性:60.0%	出典:市民調査 考え方:「5~10%増加」を目標とする
8	地域で児童虐待に気づいたときの対応がわからない人の割合の減少	男性:36.6% 女性:40.3% (H26)	男性:30.5% 女性:29.2% (H30)	男性:25% 女性:25%	出典:市民調査 考え方:「5~10%減少」を目標とする
9	児童虐待の通告義務を知っている者の割合の増加	-	男性:47.7% 女性:60.4% (H30)	90%	出典:市民調査 考え方:健やか親子21の目標値
10	オレンジリボンを知っている人の割合の増加	男性:38.0% 女性:59.0% (H26)	男性:42.8% 女性:57.6% (H30)	男性:45.0% 女性:65.0%	出典:市民調査 考え方:「5~10%増加」を目標とする
11	マタニティマークを知っている人の割合の増加	男性:34.0% 女性:61.0% (H26)	男性:60.2% 女性:76.4% (H30)	男性:65.0% 女性:80.0%	出典:市民調査 考え方:「5~10%増加」を目標とする
12	地域ほのぼののサロンの増加	18か所 (H26)	18か所 (H29)	増加	出典:地域包括支援センター実績報告
13	オレンジリングを知っている人の割合の増加	-	男性:12.1% 女性:23.6% (H30)	男性:20.0% 女性:30.0%	出典:市民調査 考え方:「5~10%増加」を目標とする
14	すこやかちゃんを知っている人の割合の増加	-	男性:11.2% 女性:33.2% (H30)	増加	出典:市民調査 考え方:「5~10%増加」を目標とする
15	ベジタベちゃんを知っている人の割合の増加	-	男性:3.2% 女性:6.0% (H30)	増加	出典:市民調査 考え方:「5~10%増加」を目標とする

